

授業科目

問題解決技法

担当教員名 本間 久文	対象学年	2	対象学科	情報
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
	○	○	○	○

授業の概要

私たちは様々な問題に直面し、それを解決しながら生活している。問題の発見の仕方、解決の手順、解決するために必要な情報の収集と分析など、問題を発見してから解決するまで、一連の流れに沿った解決策を見つけるための手法について学ぶ。

授業の目的

生活する上で直面する様々な問題について、その発見と解決の方法について学び、それを実践することができる。

学習目標

- ・問題を発見し、それを解決するための手法について学び、それを応用できる。
- ・問題発見と解決について、事例を通じて実践的に理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	問題発見と解決	講義・演習	本間 久文
2	問題の発見	講義・演習	本間 久文
3	目標の設定	講義・演習	本間 久文
4	問題解決の手順	講義・演習	本間 久文
5	問題解決の姿勢	講義・演習	本間 久文
6	情報収集と整理	講義・演習	本間 久文
7	グラフの活用	講義・演習	本間 久文
8	数値情報の取り扱い	講義・演習	本間 久文
9	図解法	講義・演習	本間 久文
10	事例研究	演習	本間 久文
11	発想法	講義・演習	本間 久文
12	問題の解決法	講義・演習	本間 久文
13	解決策の実行	講義・演習	本間 久文
14	問題解決演習 1	演習	本間 久文
15	問題解決演習 2	演習	本間 久文

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	大学生のための基礎力養成ブック	小棹理子、伊藤善隆、高橋可奈子 他	丸善出版	2012年	2,000円+税	
その他の資料						

評価方法

毎回の課題の提出状況・内容、発表態度などを点数化して、その総合計で評価する。

履修上の留意点

毎回演習問題を課すので、積極的に発言し、発表することを期待する。

オフィスアワー・連絡先

質問等があるときは、あらかじめメールで問い合わせること (honma@nuhw.ac.jp)